

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援とともにわ個別療育教室				公表日	R8 年 1 月 19日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		個室5部屋のうち4部屋が個別クラス、1部屋を面談室として使用。各活動に必要なものは必要に応じて出し入れしている。	引き続き安全で快適に活動できるスペースを確保できるように努めていく。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		適切な配置になっている。	引き続き適切な人員配置が確保できるように努めていく。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		全面バリアフリー。全て同じ高さの椅子・机の為、月齢や身長によっては適さない高さになる時もある。足がつかないご利用者様には足置きを設置して対応している。	使い勝手の良い導線等、定期的に見直し工夫し使っていけるよう努めていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の清掃で清潔を保っている。次亜塩素酸水での拭き取りをしている。	引き続き清潔さを確保できるように努めていく。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		一人一部屋を確保している。	現状維持を継続していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		日々、各自が気が付いた時に意見を出し、改善に向けた話し合いの場が設けられている。主担当者ではあるが、全職員でご利用者様の情報を共有している。	引き続き情報の共有が確保できるように努めていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年1回実施し問題解決に向け動いている。	どのような事を思われているか知る良い機会と捉え問題の解決に努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		半年に1回スタッフ面談を行い問題解決に向け動いている。	ひとりひとりの思いに寄り添い考え方問題解決に努めていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	第三者評価は受けていない ■未回答1	第三者による外部評価は行っておりませんが今後必要に応じて検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		社内研修・勉強会の機会を設けている。勉強会はスタッフのみ参加の物と保護者様もご参加頂くものがある。外部研修は調整を行い各自で受講している。	引き続き利用者様にご迷惑の掛からない範囲でご利用枠を調整し研修機会の確保に努めていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		手順に沿って作成し関係機関とも共有している。	今後もお子様おひとりひとりの発達に沿った支援内容を作成できるよう努めていく。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		フィードバック時も含め、保護者様とお話をできる機会を多く持つことができている。正職員が全員参加して支援計画にかかる会議を開催。話し合いの上、計画を作成している。	今後もお子様おひとりひとりの発達に沿った支援内容を作成できるよう努めていく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		お子様の発達や現時点での課題に沿った支援の内容を全職員で意見を出し合い作成している。支援内容の計画時は様々な観点から分析・考慮し、スマールステップ法での目標設定となるように記載。	今後もお子様おひとりひとりの発達に沿った支援内容を作成できるよう努めていく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画に沿って課題を設定し実施している。	支援計画と日々の療育内容が乖離していないかのように定期的に確認をしていく。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		行った全課題内容と取り組みの度合いや達成度など記録に残している為達成していく推移を見ることが可能。検査等は保護者の方の希望するタイミングや必要に応じてお伝えしている。	限られた時間内と限られた場所での観察になるので保護者様の方の話を聞くなど追加情報も合わせて確認をしていく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の項目と具体的な支援内容を示している。	今後もご利用者様おひとりひとりの発達に沿った支援内容を作成できるよう努めていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		全体に共通することは全員で立案できている。個別に関しては担当が立案しているが、都度相談に乗れる体制を確立できている。	今後も全体での話し合いの場をその都度設け、立案できるように努めていく。	

供 應	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		個々に合わせた内容にてプログラムを実施。日々の積み重ねを大切にしている。内容を大幅に変更することはない。	今後もお子様おひとりひとりの発達に沿った適切な支援を実施することができるよう努めます。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			個別活動のみ実施	現状維持を継続
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼で当日・翌日のお子様・各担当の確認を行っている。支援内容は管理者に報告をし確認を行う。	現状維持を継続
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	各時間の支援終了後に職員は管理者への報告を行っている。支援の振り返り、気付き、改善点、成果の話し合いを常時行い情報共有している。	現状維持を継続
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援内容を項目ごとに正確に記録している。個人毎にファイル保管しているので支援内容の検証や検討事項・改善の有無の確認を毎時行うことができる。	現状維持を継続
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に一度のモニタリング、支援計画の見直し変更を実施。正社員全員での会議を実施している。	現状維持を継続
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		相談支援事業所の方から担当者会議の要請が出た時は担当者・児童発達支援管理責任者が参加している。	現状維持を継続
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		実施実績なし。依頼があった場合は情報共有できるように対応します。	現時点での実施予定なし。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者の方からの要望があれば、保育園・幼稚園へ出向き、先生方と情報共有をしている。	現状維持を継続
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	依頼があった場合情報提供書の作成を行っている。	現状維持を継続
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4	実施実績なし。依頼があった場合は情報共有できるよう対応させていただきます。 ■未記入3	現時点での実施予定はなし。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	未実施	現時点での実施予定はなし。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		毎時間フィードバックを行い当日の取り組みとご様子及び達成度について説明する時間を設けている。	現状維持を継続
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	今年度より開催している保護者会の中で、管理者やSTによるミニ勉強会を実施。また外部の研修なども必要に応じて掲示し案内している。	来年度も保護者会の中で様々な内容の勉強会を開催予定。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		運営規程、利用者負担は契約時にご説明している。支援プログラムに関しては支援計画の説明時に伝えている。	現状維持を継続
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		個別面談の際ゆっくりお話を伺いご意向の確認は出来ていると思う	今後もお子様おひとりひとりの発達に沿った支援内容を作成できるよう努めていく。

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		支援内容を読み上げ説明を行っている	現状維持を継続
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		毎時間フィードバックを行い当日の取り組みとご様子及び達成度について説明する時間を設けている。別途相談等ある場合適宜時間を設けている。	現状維持を継続
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		今年度より保護者会を実施している。年中・年長・年少以下の3組に分かれ各組1~2実施日をご用意し多くの方にご参加頂きました。	来年度は今年度保護者の方からいただいたご要望を踏まえて、様々な内容の保護者会を開催予定。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		相談や申し入れがあった時は必ず管理者に報告を行い解決に向けて動いている。	現状維持を継続
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		連絡事項は直接口頭での説明・掲示、または書面での配布（お便り）という形で発信している。今年度よりSNSを開始し、避難訓練や保護者会の報告を掲載している。	現状維持を継続
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵のついた棚に個人情報のファイルを保管。書面はシュレッダーでの破棄、事業所（建物）外への持ち出し禁止の徹底している。	今後も適切な取り扱いに努めていく。
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		丁寧な対応を心掛けている。電話やメール、対面での連絡を怠らず実行している。	今後もお子様及び保護者様との意思疎通が図れるよう努めていく。
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	未実施 ■未記入1	現時点での実施予定はございません。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアルは事務所内に掲示。職員間で周知できている。災害時の一時避難場所はご契約時に保護者に説明の上、配布している。	隨時見直しを行い、職員間で周知徹底を行う。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		訓練時利用だったご利用者様と一緒に実施。年1回実施している。	現状維持を継続
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		一覧表にし職員がいつも目に入る場所に掲示している。	新規の方が増えた際、隨時情報を更新していく。
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		ご契約時に食物アレルギーを含めた医学的留意点の確認を行っている。	現状維持を継続
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		訓練内容が主に災害時に限定されているのでもう少し幅を広げても良いと思う。	不審者や事故等緊急事態の事案の幅を広げ多様なパターンの訓練を行う。
	50 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		災害時の避難場所等は『非常災害時の対応』というプリントを全保護者にお配りしている。	不審者や事故等緊急事態の事案の幅を広げ確認を行いご利用者様と情報共有する。
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		随時閲覧できるように事務所内所定場所にファイルを保管。全員周知できるよう確認後はチェックシートに記入を行い、閲覧漏れのないようにしている。	現状維持を継続
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		個々で動画の視聴等を行い定期的に確認している。また年に1回の研修を実施している。	動画視聴以外の研修内容を検討していく。
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			該当者なし	現在該当者なし

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援 とものわ個別療育教室	公表日	R8年1月19日				回収数	48世帯
		利用児童数	54名 R7年11月30日					
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46	2	0	0	机での作業がメインなので充分だと思います/くつや靴下の着脱スペースが人とぶつかりやすく狭く感じる（親が（自分が）邪魔）/集中しやすい環境です	スペースは十分ではありませんが動線がスムーズになるよう、配置や声かけの工夫を検討してまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	48	0	0	0		引き続き、適切な環境づくりに留意してまいります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	46	1	0	1	番号とか絵を付けるとかもう少し分かりやすくなる/?集中できる環境だと思います	登所から個室への入室までのルーティンについて手順を示した1~5の番号を掲示し、職員全員で共通理解をもって対応しております。また、視覚的な支援が必要なお子様には、個別にスケジュールや絵カードを掲示し、わかりやすい形でサポートしています。基本的に、お子様が落ち着いて過ごせるよう、視覚への刺激を少なくしたシンプルな環境づくりを心掛けております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	47	0	0	1	ムダな物がなくて良いと思います/手洗い周辺が濡れている	ありがとうございます。シンプルな環境設定を基本に今後も衛生管理に気を配って参ります。水で遊んでもお子様もおられますので適宜確認し対応させていただきます。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	46	1	0	1	まだ幼いので出来ることを少しづつ行って下さっているとは思うのですが目に見える成果が少しないように感じてしまっています。それにより支援内容が適切かの判断がわからないです。ただ間違っているとは思っていません/こどもの状況に応じたプログラムを考えて頂いてありがとうございます/こどもの性格を十分に理解して楽しく遊び学べるように支援してもらって、どちらも勉強になります。又、通い始めてから発話が増え本人のコミュニケーション幅が増えたのを実感しています/自分が無知なので何が合っているかはわからない	たくさんのご意見ありがとうございます。幼児期のお子様への療育には、遊びの要素を取り入れた支援が多くあります。そのため、見方によつては「遊んでいるだけ」のように感じられるごともございます。そのような場合にも、課題の目的や達成目標を分かりやすくお伝えし、ご安心いただけるよう丁寧な説明に努めています。また、保護者様向けの勉強会や研修などを通じて、発達に関する基礎知識に触れていただく機会も増やしていくければと考えております。より多くの保護者様が支援内容を理解し、安心してお子様をお預けいただけるよう、今後も取り組んでまいります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	45	2	0	1		今後も、掲載している支援プログラムと実際にご提供する内容が食い違うことのないよう、より一層心がけてまいります。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	47	1	0	0		モニタリングや保護者様への聞き取りを踏まえ、個別支援会議を開催し、管理者・主担当をはじめ常勤スタッフほぼ全員が参加しております。あらゆる角度から丁寧に検討を行い、支援計画の立案を取り組んでおります。今後も、同じ体制で真摯に取り組んでまいります。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	46	0	0	2		現在必要とされる支援を的確に抽出し、より具体的な内容を記載するよう努めています。移行支援につきましては、関係機関との連携を図りながら適宜情報を共有し、幼稚園・保育所等へ、必要な情報提供を行っております。就学時に同様の体制で対応し、スムーズな移行を支えてまいります。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	47	1	0	0		今後も、児童発達支援計画に基づき、より一人ひとりに合わせた支援が行えるよう、職員一同努めてまいります。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	44	3	0	1	毎回色んな事をさせてもらい楽しそうです/できる事が増えたりすると同じ内容の道具（おもちゃ）でも（パラエティ）にとんだ形で接して下さってる	ありがとうございます。今後も楽しく取り組んでいただけるよう努力いたします。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	5	9	14	幼稚園と併用している為/私はスポットなので…	現時点では、今後取り入れる予定はございません。	
支援体制	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	47	0	0	1	しっかりと書面で説明してもらいました	ありがとうございます。今後も契約時には、丁寧にご説明してまいります。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48	0	0	0		引き続き、適切な環境づくりに留意してまいります。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	4	2	6		保護者会では、STと管理者による発達と言語に関する勉強会を実施しました。今後も、可能な範囲で保護者の皆様へ分かりやすくお伝えできるよう努めています。	

保護者への説明等	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	47	1	0	0	困りごとがないか毎回確認をして下さいます/フィードバックがあり家では見せない新たな発見があり毎度成長している姿が見れて嬉しいです/連絡ノートに書いた内容や日頃の事をフィードバックの時に話せるなど親身になって下さってる	日常的な情報共有については、来所時に事務所内にいる職員や、フィードバックを担当する職員とのやり取りをはじめ、メールや連絡ノートなど、さまざまな連絡手段をご利用いただけます。そのため、普段から密に連絡を図れる環境が整っております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	44	4	0	0	質問等はしやすい環境だと思います	ありがとうございます。簡単なご質問やご相談は、日々のフィードバック時に受け付けております。一方で、じっくりお話を伺う必要のあるお悩みやご相談につきましては、「家族支援の個別面談」にて対応させていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43	1	0	0	■未記入4	今後もお子様・保護者様の気持ちに寄り添い、安心してご利用いただける支援を続けてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	31	9	2	5	■未記入1 保護者会は開いて下さりとてもいい機会でした。兄弟支援はわかりません/兄弟向けはない/保護者同士の交流の機会はありました/参加できていないのでわからない	R7年度より保護者会の開催を実施致しました。年中・年長・年少以下の3組に分かれ各組2実施日をご用意し多くの方にご参加頂きました。年長さん保護者様は先輩ママとお話をする会を準備中です。ご兄弟への支援は現在行っておりませんがご要望が多数な場合等適取り入れてまいりたいと思います。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	43	3	0	1	■未記入1	直面口頭でのお申込み・メール・連絡ノート・お電話などお声掛け頂く手段を多くご利用しております。毎月ご利用カレンダーをお渡しする際にも家族支援の面談お申し込みのみの有無等お問い合わせください。お子様の療育中に面談室にてゆっくりお話を伺う事ができます。周知に努めます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	3	0	0	■未記入1	利用日には直接お会いできますので、その際に必要な情報交換を行っています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	34	5	1	7	■未記入1 SNSやっていない	日々の療育の様子は、保護者様の来所時に直接ご覧いただけます。個人情報保護のためSNSでは公開しておりません。SNSでは、勉強会・保護者会・避難訓練の報告や、作成した課題の紹介のみ掲載しています。今後は、予定や告知への活用も検討してまいります。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	43	1	0	3	■未記入1	鍵のついた棚に個人情報のファイルを保管。書面はシュレッダーでの破棄、事業所（建物）外への持ち出し禁止を徹底している。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	43	0	0	4	■未記入1	ご契約時に保護者様へご説明していますが引き続き周知の行き届くよう取り組んでまいります。又年間計画に基づき各訓練及び研修を職員で行っております。
非常時等の対応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39	0	3	5	■未記入1	自然災害およびBCPに関する研修・訓練は、年間計画に基づき、職員とお子様・保護者様で定期的に実施しています。参加されていない保護者様へは、報告・案内のプリントを掲示してお知らせしています。今後も、より確実に周知が行き届くよう取り組んでまいります。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	45	1	0	1	■未記入1	さまざまな状況に適切に対応できるよう、安全計画や危機管理マニュアルに基づき、定期的に研修や実践的な取り組みを行い備えております。引き続き、周知の徹底に努めてまいります。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40	1	0	6	■未記入1 対象となった事がない	事故が起きないよう気を付け、緊急時の対応も再度確認し周知徹底するよう努めます。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	47	0	0	0	■未記入1 自ら部屋に入り先生の膝の上に座ったりと安心できる場所になっていると感じる/同じ先生なので安心しています	ありがとうございます。安心して通って頂けるよう努めて参ります。
満足度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	44	3	0	0	■未記入1 毎回楽しみにしています/「とのわさんいくー」とるんんです/まだ慣れていない	ありがとうございます。楽しみながら学んで頂ける場所であるよう努めて参ります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	47	0	0	0	■未記入1 いつも優しく見守りながら子の性格をふまえて関わってくださり感謝しています	お子様の成長のお手伝いに力を尽くします。

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 とものわ個別療育教室			
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日 ~ R7年 11月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54世帯	(回答者数)	44世帯
○従業者評価実施期間	R7年 11月 1日 ~ R7年 11月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 24日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>■個別療育専門の教室として、一人ひとりの特性に合わせたプログラムを提供しています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■言語聴覚士（ST）が多数在籍し、発音・ことば・コミュニケーション面で専門的な支援を行っています。</li> <li>■心理職による評価と支援 太田ステージを用いたアセスメントに基づく課題設定 認知・概念（数・形・色など）、手先の巧緻性、就学前準備など幅広い個別支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■早期療育の重視 発達の特性に早期から働きかけることでより効果的な支援につなげています。</li> <li>■スマールステップでの指導 お子様が「できた」を積み重ねられるよう、小さな段階に分けて無理なく進めています。</li> <li>■自尊心・自己肯定感の育成 成功体験を大切にし、挑戦したこと自体を認める声かけを心がけています。</li> <li>■強化子を活用した動機づけ スタンプを集めてカチャガチャを回すなど、楽しみながら取り組める仕組みを導入しています。</li> <li>■職員のスキルアップ 定期的な研修やケース検討を行い、常に質の高い支援が提供できる</li> </ul>	楽しみながら続けることが出来る工夫を今後も模索してまいります
2	<p>■保護者支援（家族支援）の充実 ご家庭での関わり方の相談、子育ての悩みの共有、情報提供など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■保護者支援（家族支援）の充実 ご家庭での関わり方の相談（個別面談）、子育ての悩みの共有、情報提供、言語・発達に関する勉強会・発達に関する情報フリーペーパーの配布</li> <li>■保護者会の開催・ピアの取組 同じ境遇の保護者様同士でお話いただくことで、共感や安心感が得られ、子育てのヒントを共有できる場となっています。小学校・放ディの情報提供なども行っております。</li> </ul>	R7年度より保護者会の開催を実施しております。今後も定期的に開催しできるだけ多くの保護者様にご参加頂けるよう工夫して参ります。
3	<p>■関係機関連携の徹底 幼稚園・保育所の先生方との電話ミーティング 実際に園へ伺う見学訪問や会議への参加 お子様を取り巻く環境全体で支える体制づくり</p>	<p>■保育所・幼稚園等の関係機関へ訪問させて頂き、実際の園での様子を拝見し先生方とのお話を通して必要な支援の確認を致します。</p>	R7年度より関係機関との連携強化を図っております。次年度もさらに積極的に保育所・幼稚園等関連機関へ訪問し先生方とお話しできればと思っております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>■土曜日や平日午後の遅い枠などは希望が重なる為、皆様に希望の枠をお取りする事ができない。早い段階で定員に達する場合があるため新規の方はお待ちいただく場合が多いです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■振替日をお取りするのが難しい場合も。</li> <li>■児発の為就学のタイミングで終了しなければならない。□</li> </ul>	幼稚園・保育所の終わった時間やお休みの日に利用希望が集中する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■お待ち頂いている間にもスポット利用などで少しでもご利用頂けるように工夫しています。</li> <li>■キャンセルが出た時点でご案内できるよう個々の事情を詳細に把握しておく必要があります。</li> <li>■就学後自費で受けられる枠を検討中です。</li> </ul>

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■集団の中での様子が見られない事</li> <li>■個別教室で得た物を実生活でどのように活用しているかの確認ができない</li> </ul>	<p>集団クラスを設けていない為</p>	<p>今年度より関係機関連携を始めました。希望があれば訪問が可能な保育所・幼稚園へ訪問し集団での様子を拝見、先生方とお話をさせて頂きます。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担当スタッフによって得意分野やスキルに違いがあるため、常に同じ水準のサービスをご提供することが難しい場合があります。</li> </ul>	<p>個別療育という特性上、担当スタッフの経験年数や専門分野の違いがどうしても見えやすくなることがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■職員用の研修・勉強会を開くようにしている。</li> <li>■専門職のスキルアップについては、現状では各スタッフの自主性にゆだねている部分が大きくなっています。キャリアマネジメントなどの方向性を示すことができれば、さらに良い環境づくりにつながるのではと感じています。</li> </ul>